



「UR都市機構フォトコンテスト 2022」結果発表

計 808 点の応募作品から受賞作品 24 点を決定！

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）は、令和4年3月22日から5月31日まで「くらしがある、笑顔がある。」をテーマに、復興部門は東日本大震災からの復興支援の一環として東北の「今」を伝える写真を、団地部門は日本全国のUR賃貸住宅に住まう人々の「今」を伝える写真を、皆様から募集し「UR都市機構フォトコンテスト2022」を開催しました。

今般、復興、団地各部門大賞1作品のほか、優秀賞3作品と入賞8作品（キッズ・ジュニア賞を含む）を決定しましたので発表します（詳細は別紙）。

郵送、HP、Instagramで作品を募集し、全国から808点（復興278点、団地530点）と多数の応募をいただきました。復興部門では前向きな息吹が感じられる写真、団地部門では四季を感じられる写真が多く寄せられるという応募作品の傾向が見られました。

大賞以下、受賞作品は当機構ホームページ（<https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/photocontest/2022/result/>）で紹介いたします。

【大賞受賞作品】

復興



『幸せの在り方』

（宮城県登米市）

団地



『秋を見送る』

五輪団地（北海道札幌市）

【受賞作品数】

大賞	2 作品（各部門 1 作品）
優秀賞	6 作品（各部門 3 作品）
入賞（キッズ・ジュニア賞を含む）	16 作品（各部門 8 作品）

【作品メッセージと講評】

復興部門 大賞 『幸せの在り方』 (ちかさん)

メッセージ

「震災を経て日常生活の中での小さな幸せを見つけられる事が多くなりました。明日が来る幸せ、大切な人に会える幸せそんな幸せの形を感じられる一枚です。震災をはじめ戦争やコロナと暗いニュースが多いですが、それ以上に幸せな事は沢山ありそれを感じられる方々が増えて欲しいと思いました。」

講評

「震災がきて、そこから復興することに多くの人と時間をかけてきたのは、まさにこの写真のような「小さな幸せ」を感じる日常を取り戻すためだったのではないかと思わされる一枚。力強く咲く桜の前で、母親に抱かれた子どもと、その子どもを抱く親が感じる大切な時間、構図とメッセージの両方から日常の豊かさが伝わってくる作品。」(西田司)

団地部門 大賞 『秋を見送る』 (山内 佳子さん)

メッセージ

「紅葉の綺麗な公園から団地を撮影しました。木馬も印象的で、人の住空間にあたたかくメルヘンチックな景観も添えてくれています。」

講評

「北海道ならではの美しい紅葉を幻想的な作品として仕上げ、構図もよく素晴らしい作品で、審査員満場一致の大賞です。メルヘンチックな空間の紅葉の公園を景観に、中に、住棟に向かう住民の方が数人溶け込んでいて、視線の先に住棟がみえる大賞にふさわしい秀逸な作品です。」(池邊このみ)

受賞作品の詳細はUR都市機構ホームページまたは Instagram 公式アカウントからご確認ください。

<https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/photocontest/2022/result/>

https://www.instagram.com/ur_toshikiko

お問い合わせは下記へお願いします。

本社 広報室 報道担当 (電話) 045-650-0887

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・暮らしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



「UR都市機構フォトコンテスト2022」概要

名称	UR都市機構フォトコンテスト2022		
主催	独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）		
後援	国土交通省、復興庁		
作品イメージ	<p>下記イメージを想定した作品を募集します。</p> <p>（復興）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北の復興を感じる場面 ・東北での生活がうかがえる場面 <p>（団地）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季折々のUR賃貸住宅団地の風景 ・UR賃貸住宅団地に生活する人々の息づかいが感じられる場面 ・UR賃貸住宅団地と周辺環境が形づくる風景 		
応募作品数	808点（復興278点 団地530点）（プロの応募は不可）		
審査員（敬称略）	池邊 このみ（ランドスケーププランナー）／大西 みつぐ（写真家） ／西田 司（建築家）／misuzu（写真家・インフルエンサー） ※敬称略		
選定方法	審査員及びUR都市機構職員等による審査により決定		
賞	<p>《大賞》 2点（各部門1点）</p>		
	 <p>『幸せの在り方』（宮城県登米市）</p>	 <p>『秋を見送る』（五輪団地）</p>	
	<p>《優秀賞》 6点（各部門3点）</p>		
	 <p>『穏やかな三陸の海』 （岩手県陸前高田市）</p>	 <p>『煙を残して』 （岩手県遠野市）</p>	 <p>『桃花の絆』 （福島県東白川郡鮫川村）</p>
	 <p>『秋ですよ！』 （シャレール荻窪）</p>	 <p>『二つの世界』 （サンヴァリエ針中野）</p>	 <p>『小さな雪山』 （西久保町公園ハイツ）</p>
	その他、入賞（キッズ・ジュニア賞を含む16点）を選定		
スケジュール	令和4年3月22日～令和3年5月31日 令和4年8月31日	作品募集期間 受賞作品発表	
ホームページ	https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/photocontest/2022		